

地域の実情と課題

令和2年度に実施した本市第2次男女共同参画計画(令和3～12年度)策定のための市民・事業所アンケートの結果及び本市男女共同参画委員会委員からの意見を踏まえ、職業生活における女性の活躍促進が重要課題であるとし、特に固定的な性別役割分担意識の解消、ワークライフバランスの正しい理解と普及、また男性の家事・育児への参画を促進することで、女性の活躍推進につなげていくことが求められている。

事業の特徴

子育て世代をターゲットとし、絵本の読み聞かせやあそびを通して男性の家事・育児参加および固定的な性別役割分担意識の解消を促進した。

【読みメンプロジェクト】

講師:三浦 太郎 氏(絵本作家・デザイナー)

内容:第1部 ワークショップ

「紙の街をつくろう」と題し、画用紙を自由に切って、並べて参加者みんなで1つの街をつくりあげた。

第2部 トークショー

仕事と家庭生活の両立において大切にされてきたことや、絵本を通しての育児について、ご本人の読み聞かせを交えてお話していただいた。

事業の効果

参加者アンケートを実施(回収率85.9%:61/71人 ※アンケートは大人のみに配布)し、結果分析及び課題整理を行った。

・参加者の年齢:「30歳代」23人(37.7%)、「40歳代」22人(36.1%)となっており、ターゲットである子育て世代への啓発が図れたと考えられる。

・満足度:①ワークショップでは96.6%、②トークショーでは82.5%の方が「満足」または「まあ満足」と回答しており、講演会全体を通して、満足度の高いイベントとなったと考えられる。

目的・目標

左記の課題解決に向けた契機となる事業を実施することで、女性の職業生活における活躍の推進及び男性の家事・育児への参画促進を図る。

【数値目標(令和7年度)】

- ・男女共同参画に関する講演会の開催 1回あたり100人以上(実績)令和6年度本事業 講演会1回 参加者150人

※上記に加えて交付金対象外事業として講演会(1回)を実施した。

連携団体

- ①坂出市男女共同参画委員会(13人)
学識経験者、各種団体、公募委員
- ②市内及び近隣の企業
坂出商工会議所、坂出綾歌企業人権・同和教育推進協議会
- ③行政関係機関
香川県、県内7市9町
- ④坂出市人権啓発推進会議(市内40団体)

今後の課題

市男女共同参画委員会にて事業効果等の検証を行った結果、下記の課題が挙げられた。

- ①市内参加者よりも市外参加者の方が多いことについて、今後は市民優先とすることも検討すべきではないか。
- ②「男女共同参画についての関心や理解は深まったか」との問いに対し、少数ではあるものの、理解や関心が「変わらない・深まらなかった」と回答している参加者がいることについて、今後の講演会に活かして欲しい。

事業の概要

坂出市男女共同参画講演会・読みメンプロジェクト 三浦 太郎さん ワークショップ&トークショー

日時 令和6年9月29日(日)13:00~16:00

場所 坂出市民ふれあい会館 2・3階

内容 第1部 ワークショップ「紙の街をつくろう」

第2部 トークショー

参加 150人

講師 三浦 太郎 氏(絵本作家・デザイナー)

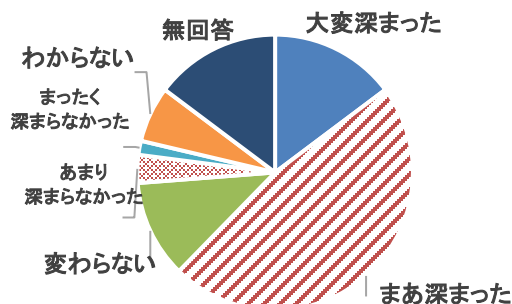
【プロフィール】

大阪芸術大学美術学科で版画を専攻。イタリア・ボローニャ国際絵本原画展で入選を重ね、海外で絵本を出版。子どもの誕生を機に国内での絵本制作に力を入れる。代表作に赤ちゃん向け絵本『くっついた』『あ・あ』や『ちいさなおうさま』など著作・受賞歴多数。

参加者アンケート結果

【回収率】85.9%(61/71人 ※大人のみ)

①男女共同参画についての関心や理解について



②自由意見欄

・こんなにたくさんの人で1つの作品を作ることはなかなかないので、良い経験をさせてもらいました。(40歳代・女性)

・“笑い声が聞こえるうち”頑張ります！(20歳代・女性)

・読み聞かせのやり方、私もワクワクするようにやってみたいと思いました。(40歳代・女性)

当日の様子



ワークショップ



トークショー